

令和 6 年度

## 第 3 回芽室町図書館協議会議事録

とき 令和 7 年 3 月 27 日 (木)  
15:00 ~ 15:40  
ところ 芽室町図書館視聴覚室

芽室町教育委員会生涯学習課図書館係

## ○会議次第

- 1 開会
- 2 生涯学習課長あいさつ
- 3 案件
  - (1) 令和6年度図書館利用状況について
  - (2) 令和7年度図書館費予算について
  - (3) 芽室町図書館カスタマーハラスメントに対する基本方針について
  - (4) 令和7年度第52回芽室町読書感想文コンクールについて
  - (5) その他
- 4 その他
- 5 閉会

## ○出席委員

吾妻 昌三、藤田 博史、小池 和枝、田中 美佐枝、小林 瞳未

## ○欠席委員

椿原 雅章、佐々木 紀子、山下 正

## ○傍聴人 なし

## ○事務局

生涯学習課長 江崎 健一  
図書館長 藤澤 英樹  
図書館係主任 石井 孝明

午後3時00分 開会

- 1 開会
- 2 生涯学習課長あいさつ
- 3 案件
  - (1) 令和6年度図書館利用状況について  
【副委員長】(1) 令和6年度図書館利用状況について事務局より説明をお願いします。  
【図書館長】 - 資料により説明 -  
【副委員長】この件について御意見、御質問はありますか。  
～ なし ～
  - (2) 令和7年度図書館費予算について  
【副委員長】(2) 令和7年度図書館費予算について事務局より説明をお願いします。  
【図書館長】 - 資料により説明 -  
【副委員長】この件について御意見、御質問はありますか。  
～ なし ～
  - (3) 芽室町図書館カスタマーハラスメントに対する基本方針について  
【副委員長】(3) 芽室町図書館カスタマーハラスメントに対する基本方針について事

務局より説明をお願いします。

【図書館長】 - 資料により説明 -

【副委員長】 この件について御意見、御質問はありますか。

【副委員長】 最近はこのようなことについて増加傾向が顕著なのか。

【図書館長】 全体の増加というより特定の人の事案が散発的にある。いざという時の対応も職員一同で共有し取り組んでいる。職員の保護や士気の低下を防ぎ、毅然とした対応をするという意味で利用者の目に触れるよう表示し取組を示しているところである。

【小林委員】 このようなことがあると知りびっくりした。今も継続しているのか。

【図書館長】 年数回は警察とも連携している状況である。

【生涯学習課長】 この基本方針は役場のどの部署でも起こり得ることを想定して作成したもの。毅然とした対応が求められている。このような事案は一般の利用者にも御迷惑をお掛けすることになる。

【副委員長】 職員に大きな声を出している人がいて。嫌な気分になったことがある。利用者や職員に大きな影響になるのでこれが防衛策になれば良い。

● (4) 令和7年度第52回芽室町読書感想文コンクールについて

【副委員長】 (4) 令和7年度第52回芽室町読書感想文コンクールについて事務局より説明をお願いします。

【図書館長】 - 資料により説明 -

【副委員長】 課題1の著作権の問題について、可否の線引きは難しかったのか。

【図書館長】 実際の応募作品を見て審査委員が判断したものである。

【吾妻委員】 問題のある作品の例示があると良いが。

【図書館長】 実例を準備しておらず申し訳ない。

【生涯学習課長】 他町村の例も参考にして研究し、次回のコンクールで対応することしたい。

【副委員長】 課題2の学校選出の審査委員についてはどうか。

【吾妻委員】 学校選出審査委員の人数は決まっているのか。

【図書館長】 小中高等学校各1名の計9名である。感想文とPOP両方を同じグループの審査委員が審査している。

【小池委員】 美術の先生等の限定はしなくて良いと思う。

【副委員長】 POP部門もはじまったばかりであり、限定しない従来のかたちで進めて良いのではないか。

【生涯学習課長】 学校の判断ということで、御意見は参考にさせていただきたい。

【副委員長】 課題3の賞の区分についてはどうか。審査委員会では違う賞区分の方が活性化できるという意見が出たのか。

【図書館長】 POPについて読書の感動に優劣はないのではという意見があった。

【副委員長】 感想文も感動を文章にして伝えるのでPOPも観点としては同じであると思う。

【小池委員】審査委員を務めたが、3段階でなくても1学年1つの賞でも良いのではとの意見もあった。いくつかの学年をまとめたグループで3つの賞という当初のやり方では難しさがあり学年ごとに賞を決めた。審査の際、本の表紙とPOPの絵が重複する場合選考から外したが、全学年の審査委員の統一したすり合わせをしたら良いと思った。

【生涯学習課長】目線合せの難しさもあるが、貴重な御意見をいただいたので次回は事前の確認を徹底していくようにしたい。

【副委員長】初めてのもので課題もあるが、多くの応募があり新しい取組として期待できる。読書に親しむ新しいやり方である。来年に向けて他自治体の例も参考にしてより良いものにしてもらいたい。

【副委員長】その他この件について何かありますか。

～なし～

【副委員長】では、その他について何かありますか。

～なし～

【副委員長】では、事務局に戻します。

【図書館長】他には特にありません。これで終了いたします。本日はお疲れさまでした。

午後3時40分閉会